

A large log yard with stacks of logs and a red excavator in the background. The foreground shows a close-up of a log with white markings. The background features a dirt path, a red excavator, and a forested hillside under a clear blue sky.

# 吉野町

## 奈良県フォレスターの取組

# 自己紹介・フォレスター制度

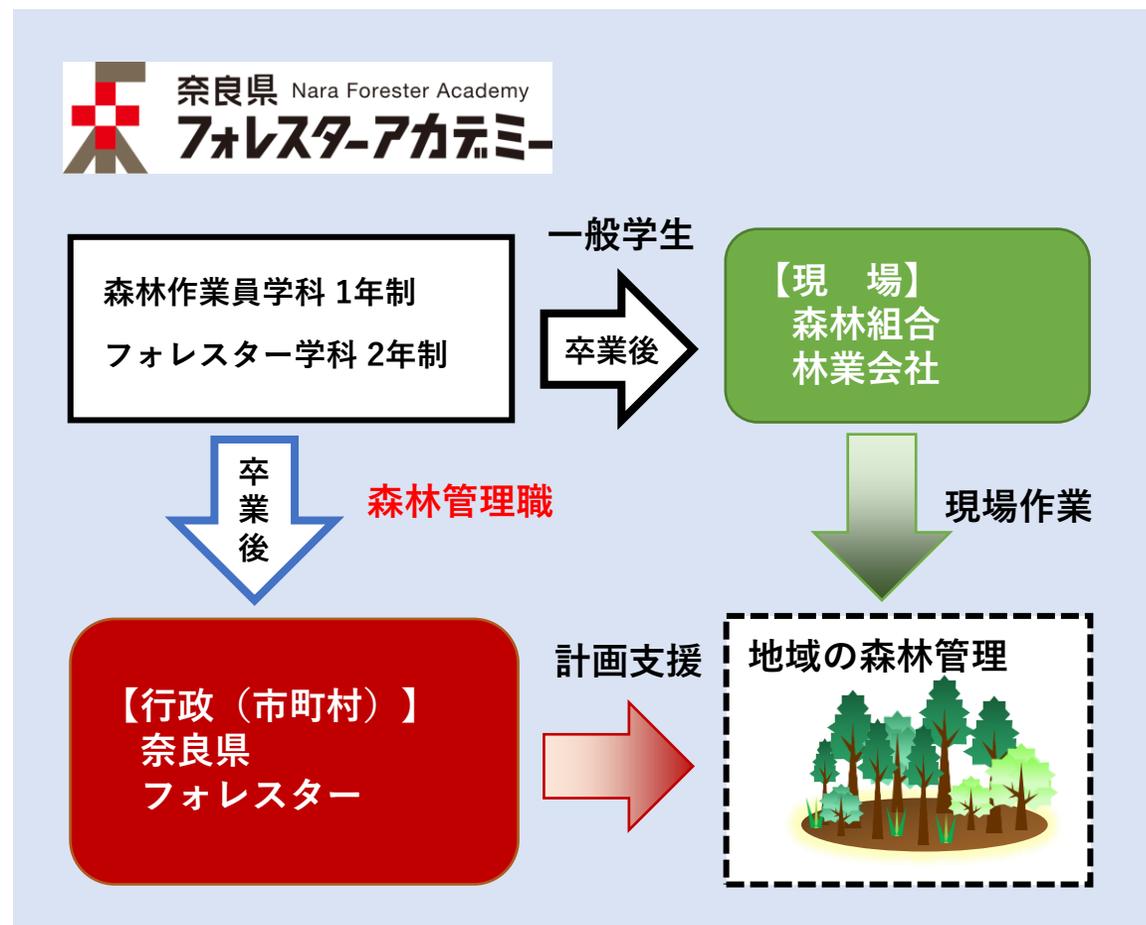


吉野町暮らし環境整備課

農林振興室 主査 森本 祐太郎

## 経歴

- 2009～  
奈良市役所 事務職として勤務
- 2020～  
奈良県庁に入庁（森林管理職）  
フォレスターアカデミー研修
- 2023～  
県フォレスターとして吉野町派遣



# フォレスターアカデミーでの教育

## ◆林業技術



- チェンソー講習
- 林業機械操作
- 道づくり
- 架線搬出

## ◆ICT関連



- 測量基礎
- ドローン操作
- 森林GISの活用
- 森林情報のデータ化

## ◆森林生態等

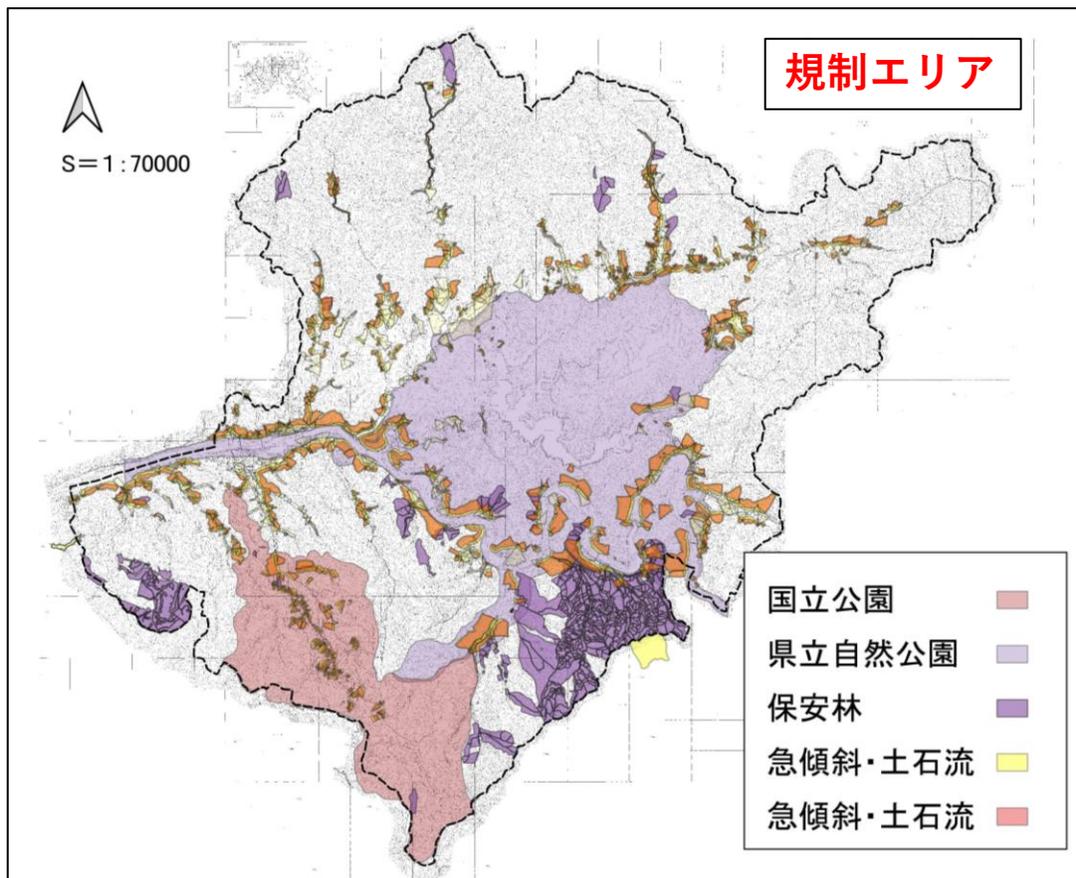


- 植物
- 動物
- 生態系
- 地質

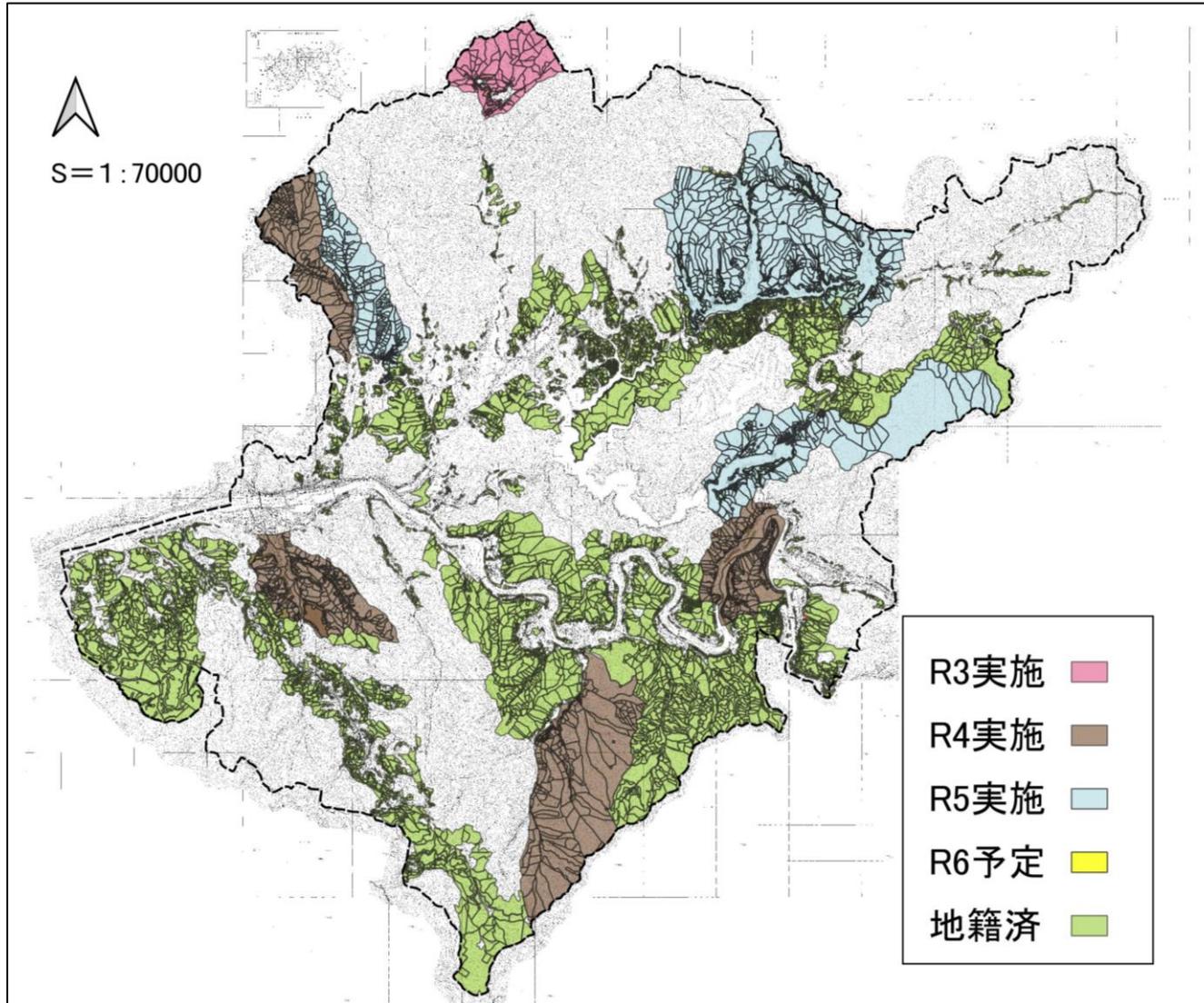
想像以上に  
アカデミック  
な内容もあり  
ました。

# 吉野町での一年間の取り組み

## ◆森林・土地情報の一元化 地図情報システムへの取り込み



## ◆森林情報の整備状況（R6.2.13時点）



### 【山林面積】

7872.2 ha （町：9,565ha）

### 【管理状況】

#### ■森林地番参考図

1642.8ha

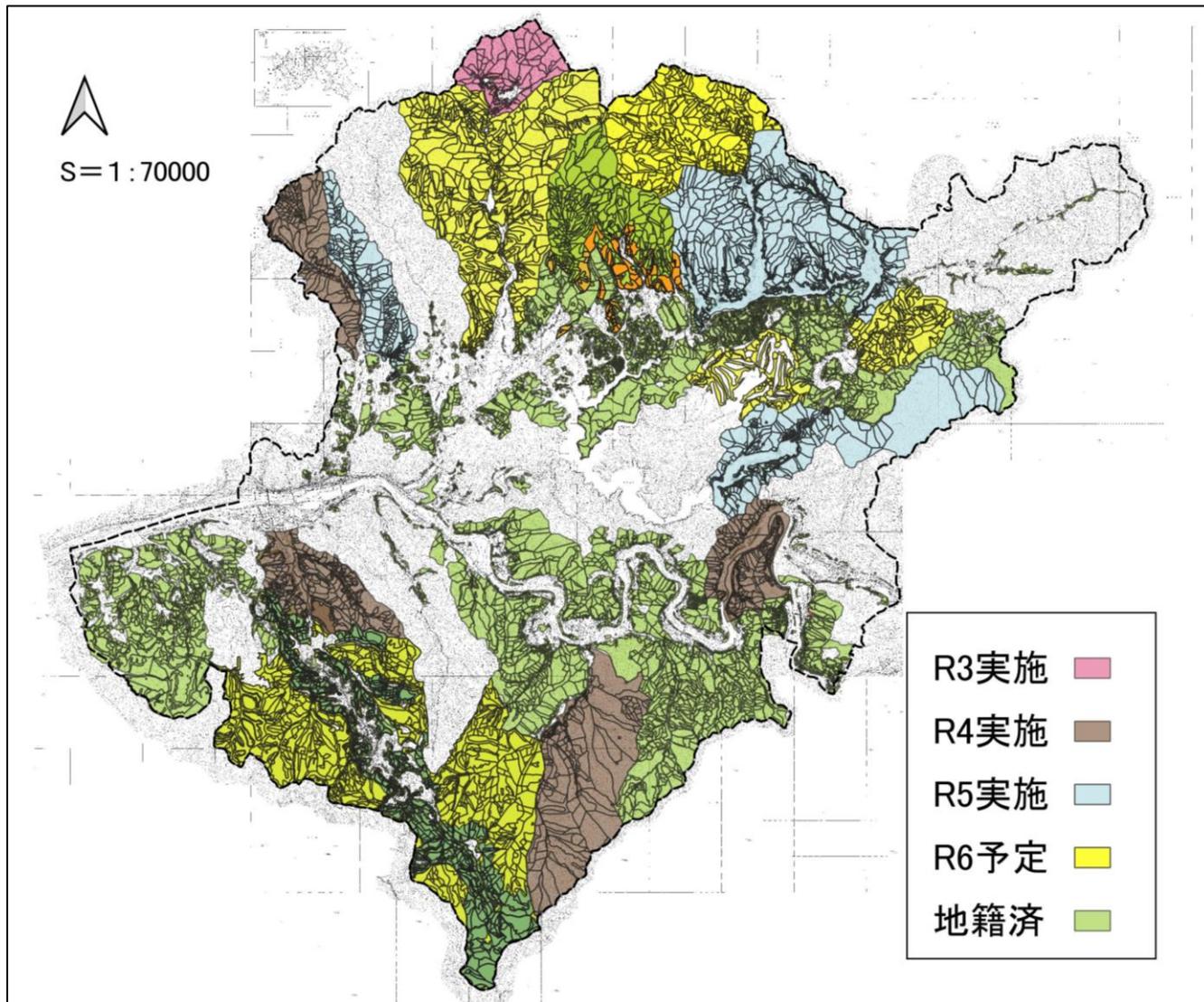
#### ■測量図面のある区域

2382.2 ha

➤ 51.1%

@4025.0/7872.2

# ◆整備計画



## 【整備予定】

### ■森林地番参考図

R6 : 1,500ha

➤約70%

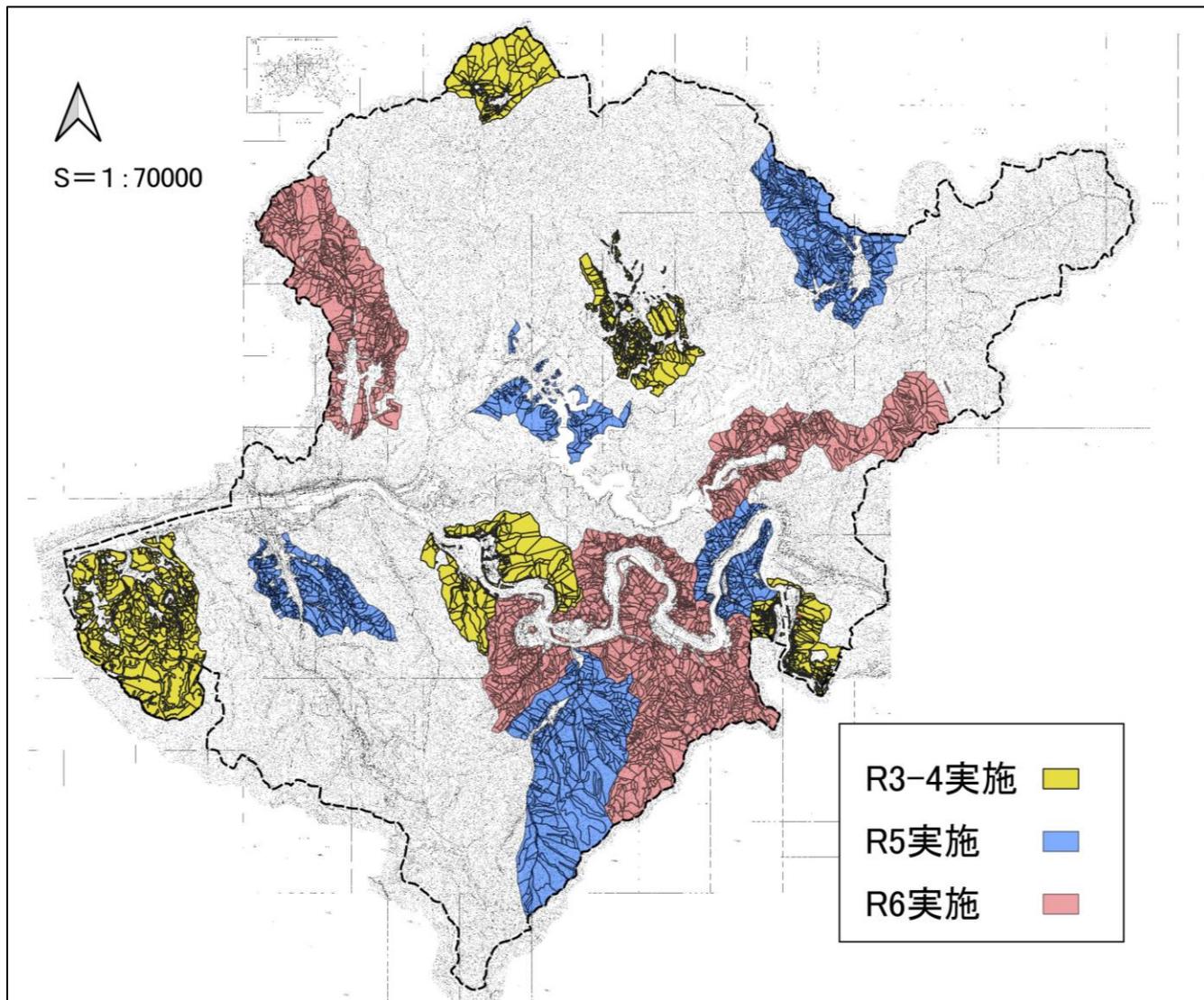
R7~8 : 1,700ha

➤完了予定

## 【地番参考図について】

- ・地役・地上権の情報集約
- ・参考となる地番を図上で表現できる

## ◆情報の活用 ～意向調査の状況～



### ■調査済みエリア

約1,000ha

### ■回収率

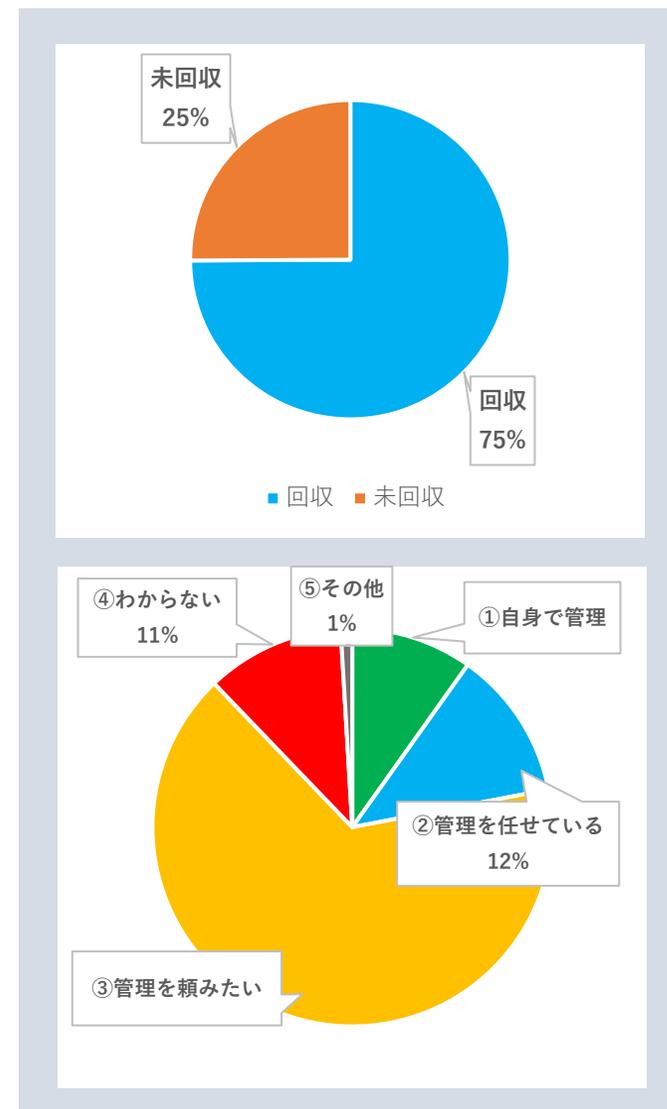
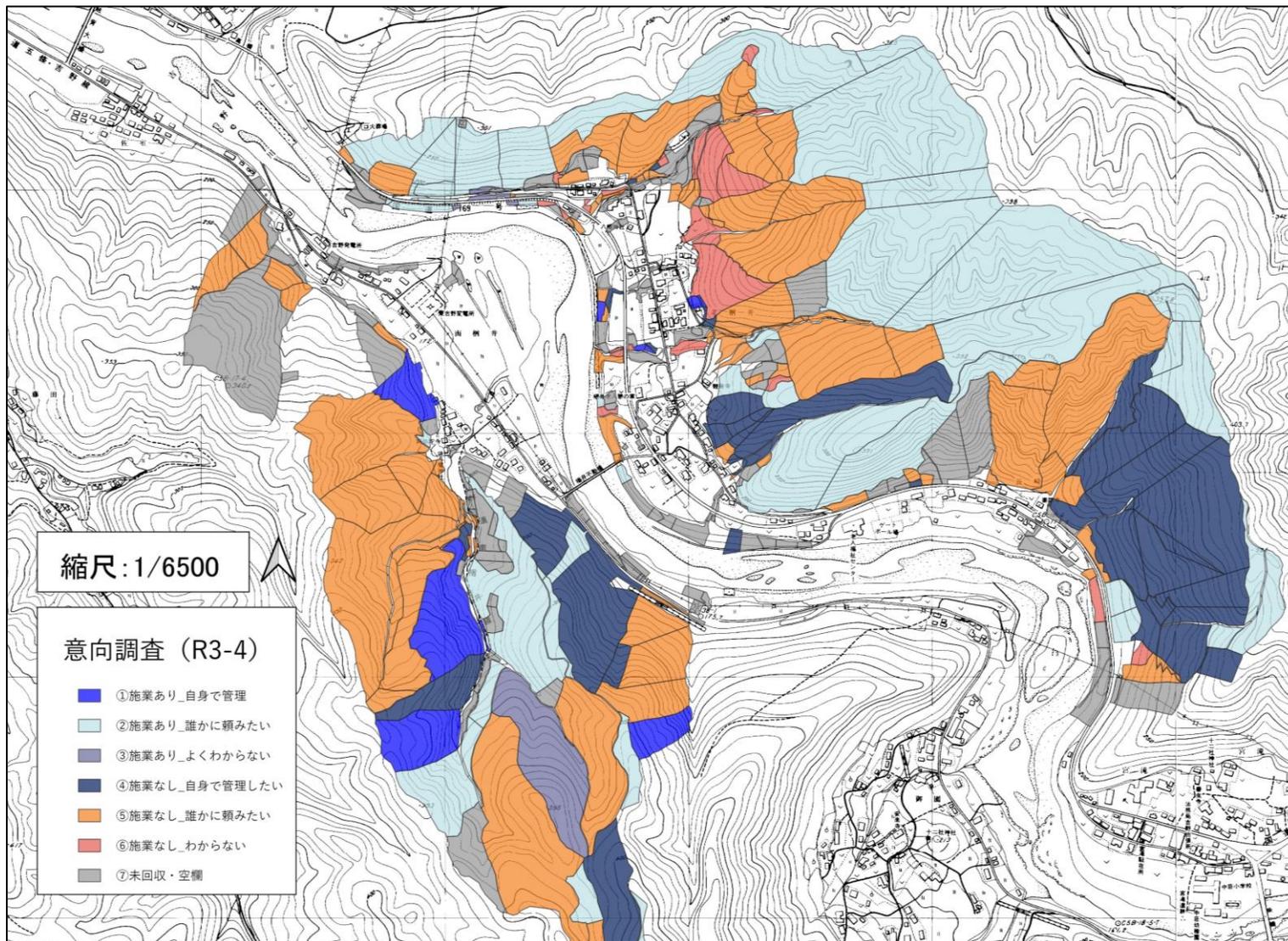
R3…約7割

R4…約6割

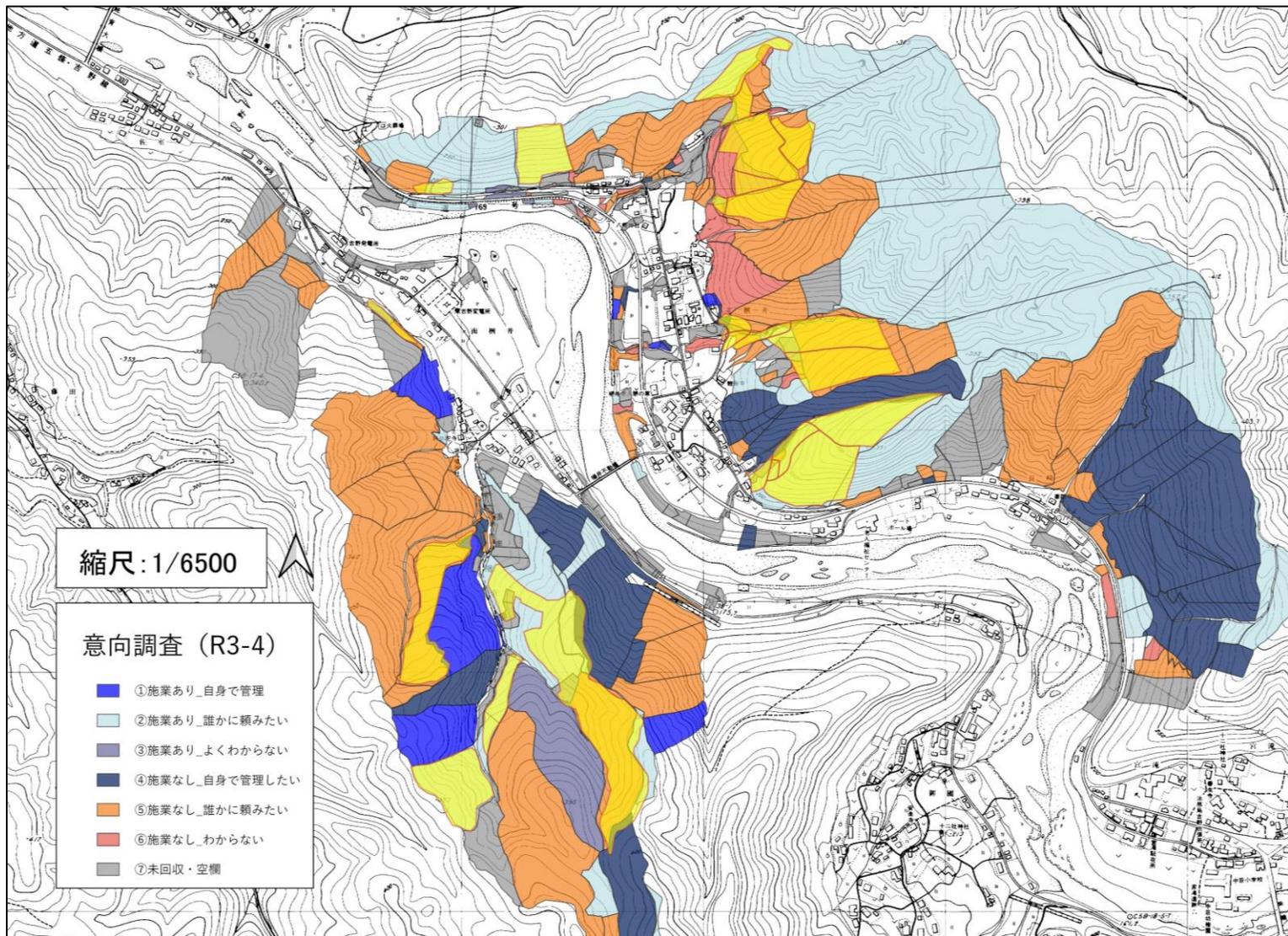
### ■今後

1000～1500ha/年

# ◆森林情報の活用状況（意向調査）



## ◆意向調査と公共事業の状況



### 【活用状況】

公共事業 (黄色枠)

放置林間伐 (切捨)

### 【課題・今後】

面的な整備



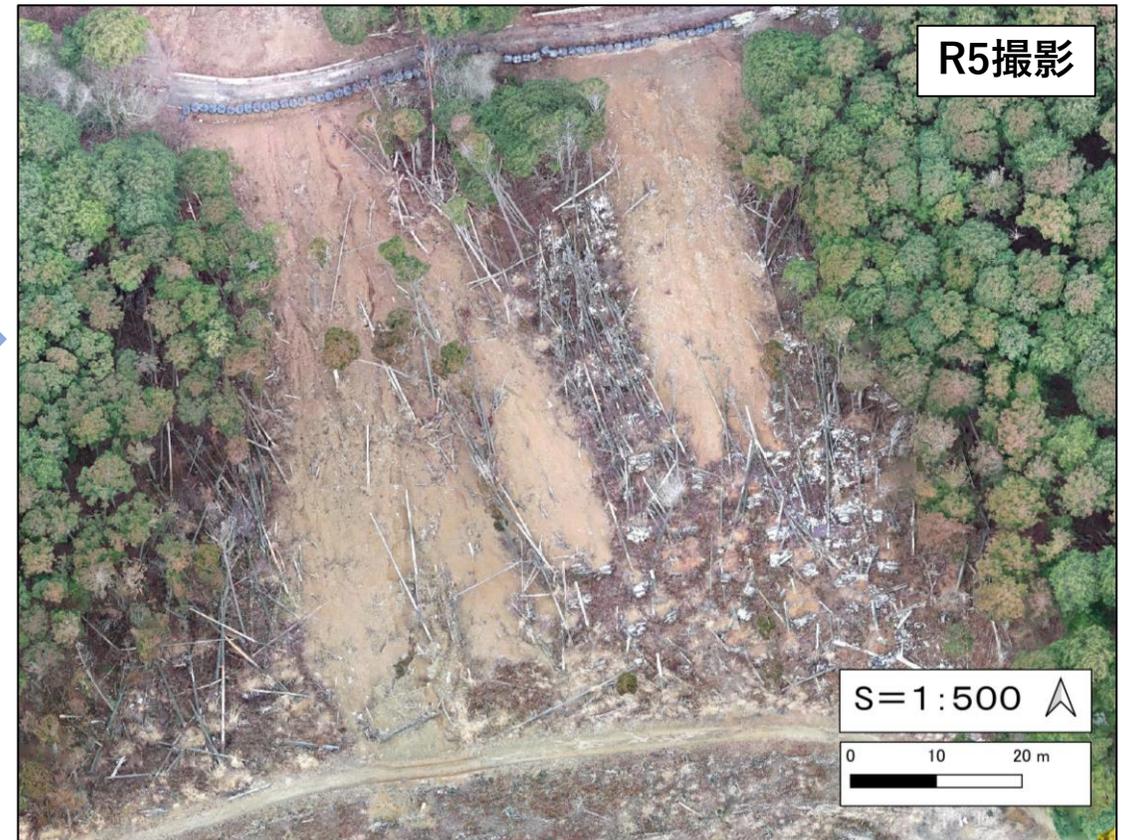
面的かつ質的に必要性  
を見極めた整備



現地踏査が必要

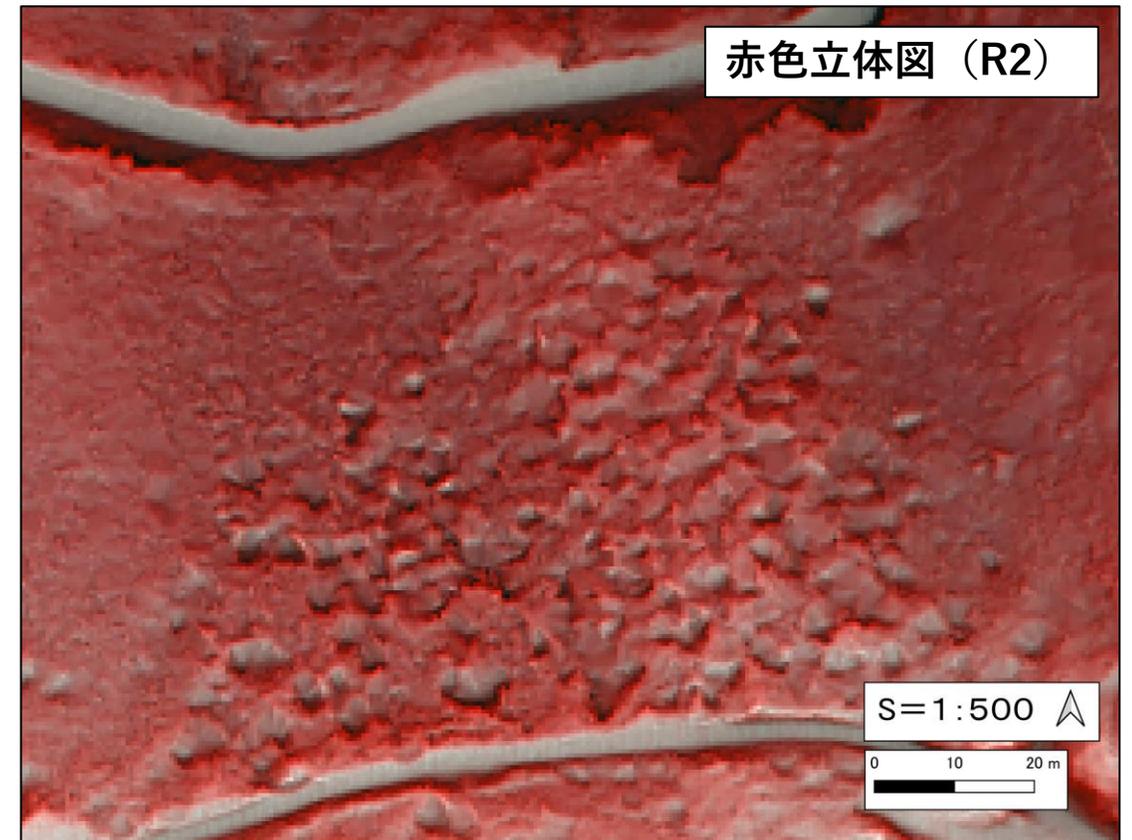
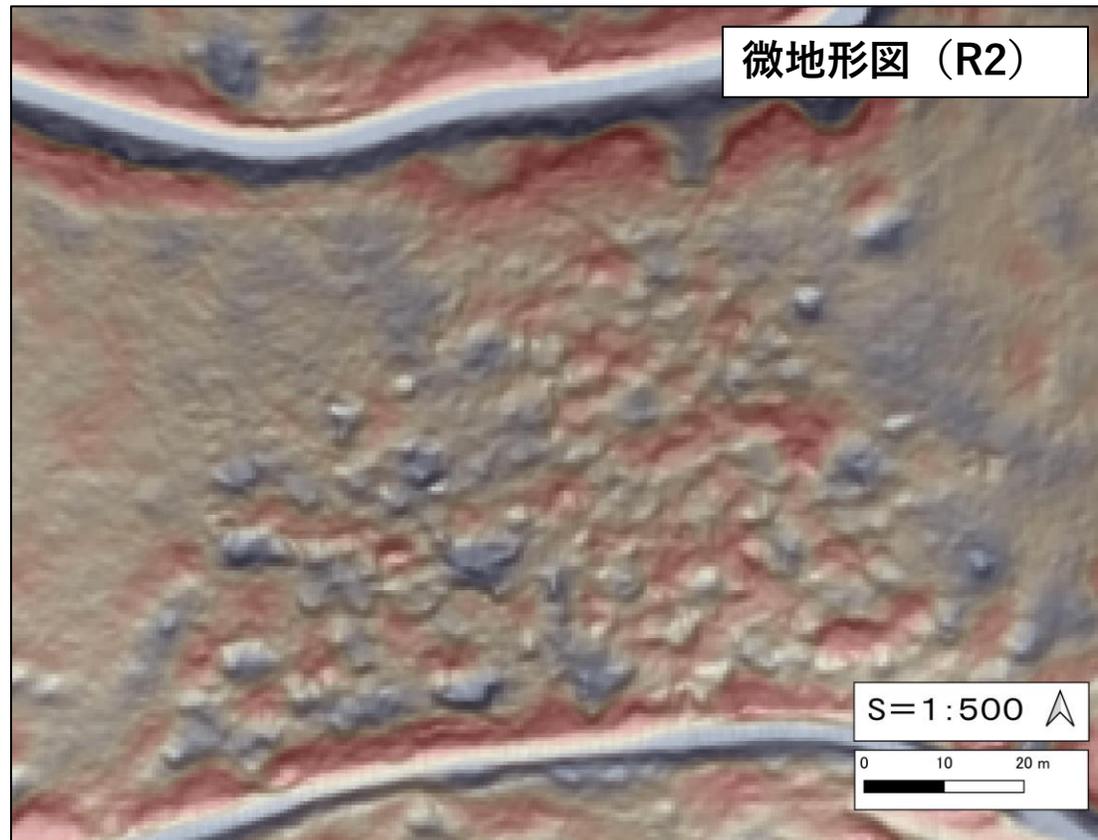
# 吉野町での一年間の取り組み

## ◆現地調査 – 崩壊地のオルソモザイク化–



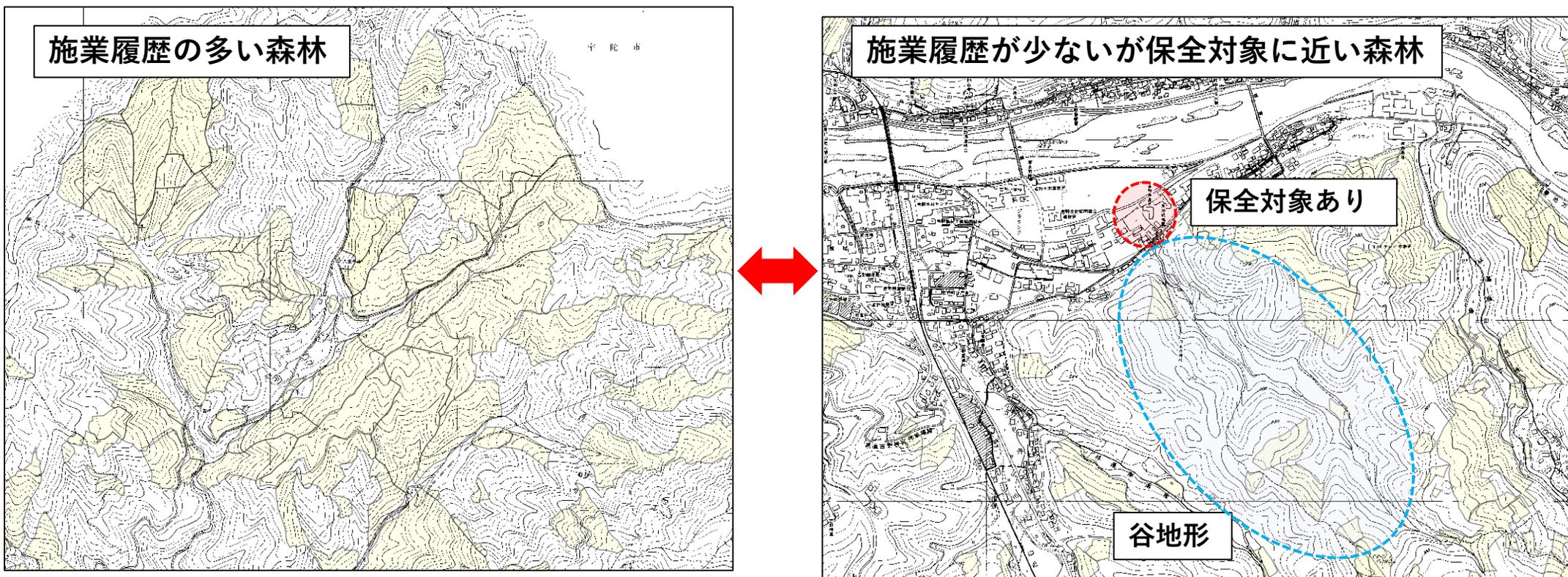
# 吉野町での一年間の取り組み

## ◆解析情報の確認 ～寝返り林分の危険性、路網排水の重要性～



# 今後の課題 ～境界明確化について～

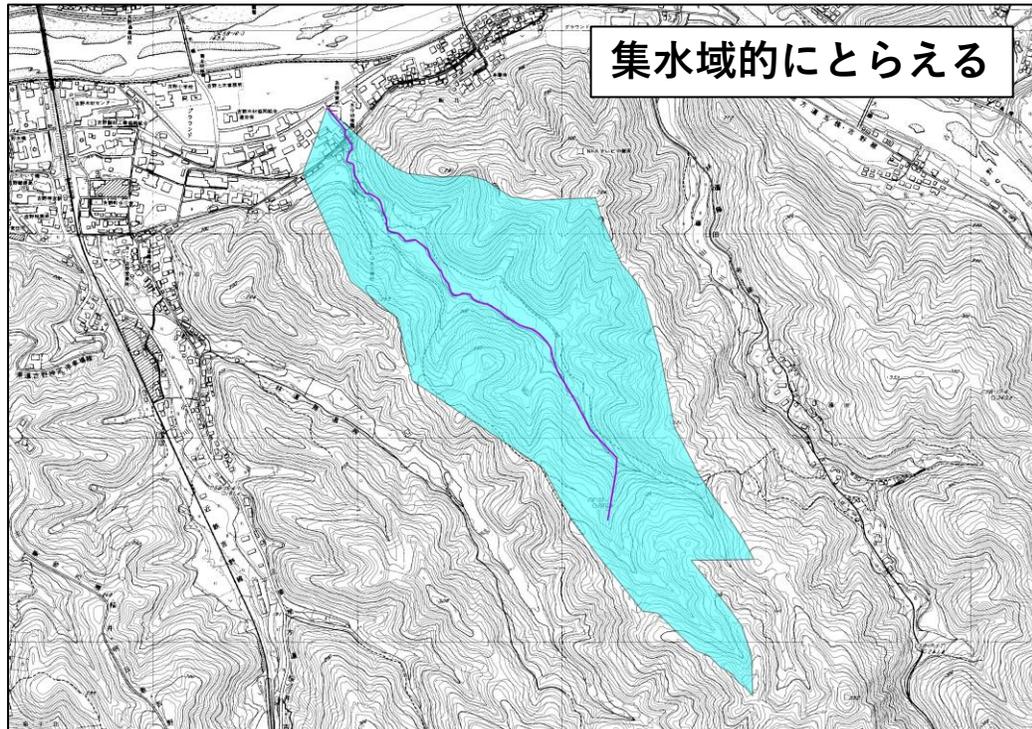
◆行政として「どのような基準」で森林管理に介入するか。



「所有者の意思」を確認し、地形や保全対象の関係性などから指標を持つ必要がある

# 今後の課題

## ◆情報を集約した先の森林管理（間伐・林相転換）を考える



「順応的な管理」が必要 → そのために様々な次元の情報を集約・蓄積